

【会議要旨】

会 議 名	令和5年度 第4回3R推進行動会議
開 催 日	令和6年3月21日（木）
開 催 場 所	男女平等参画センター（リーブラ）学習室
事 務 局	環境リサイクル支援部 みなとりサイクル清掃事務所
会 議 次 第	【報告事項】 「考えよう、海洋プラスチック問題」講演会・ワークショップ実施報告 【検討事項】 令和6年度3R推進事業の予定について
資 料	1 「考えよう、海洋プラスチック問題」講演会・ワークショップ実施報告 2 令和6年度3R推進事業（案）
会議の結果及び主要な意見	
	「【報告事項】 「考えよう、海洋プラスチック問題」講演会・ワークショップ実施報告 【事務局】 「考えよう、海洋プラスチック問題」について、講演会「世界一楽しい！おさかなクイズで環境学習」を3月3日（日）14：00から、ワークショップ「マイクロプラスチックごみでキーホルダーを作ろう！」を3月9日（土）10：00からいずれも男女平等参画センター（リーブラ）で開催しました。 対象者は区内在住の小学生とその保護者で、講演会が8組18名、ワークショップが7組16名の参加をいただきました。 同日の開催を計画していましたが、講師のスケジュール調整の結果2日に分けての開催となりました。 3月3日の講演会は神戸動植物環境専門学校特別講師や絵本作家の他、情報番組出演を通してさかなの生態や海の大切さを伝える活動をしている「さかなのおにいさん かわちゃん」氏を講師に、身近な魚や海の環境問題をテーマにして、子どもでも参加しやすいクイズ形式で魚を通して海洋へのプラスチック流出問題について啓発しました。 3月9日のワークショップは、河原清掃活動している、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムの山地佳奈氏を講師に、河川や海へのプラスチック流出の状況をスライドと、マイクロプラスチックを材料としたキーホルダー作成により海洋プラスチック問題を考えるきっかけとしてもらうことを目的としました。 参加者には、プラスチックストローの削減を図り、海洋への使い捨てプラスチック流出防止の啓発として、シート状のものを使用時は丸めてストロー状にして、使用後は洗って何度も再使用できる『ストロール』という啓発品を配布しました。

【委員】

- ・参加者はもう少し多くても良かったのではないか。追加募集は？
→12組25名で募集したところ、講演会は募集が多く抽選の結果12組を決定した。直前や当日のキャンセルがありこの人数になった。応募状況も報告するよう今後は検討します。
ワークショップは応募が同数で抽選なしだったが、やはり直前と当日キャンセルがあった。直前で再募集が時間的に間に合わなかったため少ないまま開催しました。
- ・開催しましたという報告だけでなく、参加者からの感想なども教えてもらえるといい。→後日追加報告により共有したいと思います。

【検討事項】

令和6年度3R推進事業の予定について

【事務局より】

令和5年度を参考に、同様の内容でスケジュールを考えている。

【委員よりの特段の意見なし】

【検討事項】

令和6年度第1回3R推進事業の日程について

【事務局より】

例年4月の後半に開催しているので、本日ご都合を確認させていただき、日程を決めたいと思っています。

【その他委員意見】

- ・海洋プラスチック問題啓発イベントは、「プラスチック削減」イベントに名称を変更してみてはどうか。
- ・「段ボールコンポスト」は、多数のかたが集まるイベント時に実演してもよいのでは。
- ・区民まつりは多くの人が訪れるため、展示内容を1つに絞って、滞留を回避してはどうか。
- ・海洋プラスチック問題啓発用のポスターを作成して、海浜に関わる事業を営んでいる業者・事業所等に配布してはどうか。
- ・高齢化社会に対するレシピ（例えば、冷凍法）等、講習会の開催をしてはどうか。

【事務局より】

令和5年度3R推進事業について、いただきましたご意見を参考にしながら、準備を進めてまいります。